

図書館だより

“お薦め図書”の紹介

平成 23 年 12 月 01 日 (木)

12 月号【No.10】

山形県立加茂水産高等学校・図書館

3 年生が国語の授業で書いた
“本の紹介文”からの紹介で

『調理以前の料理の常識』 ~簡単におぼえられる料理の基本~

私は昔から料理に興味があり、図書室で様々な料理関係を見ていたが、この『調理以前の料理の常識』というタイトルに惹かれたのが、この本を読むきっかけになった。

この本にはほかの料理の本とは違い、初めて料理に手を出す人でも上手に作れるコツややってしまいがちな失敗のことが、四コマまんがやイラストを使ってわかりやすく描かれており、まるでまんがでも読むかのようにスラスラ読め、簡単に覚えることができた。

またほかにも、調理以前の常識ということで、道具の使い方、材料の切り方、素朴な疑問の解決方法などが書かれており、この本を読むことでより上手に調理できるようになると感じた。

とてもわかりやすく、しかも上手くまとめられているこの本は、一人暮らしをする人や料理を始めたい人には役立つ本だと感じた。



『空想科学読本』 ~人類よ、現実を見よ~

空を飛ぶ。光線を発射する。巨大ロボットを高速で動かす。そんなことが可能なのか。アニメや戦隊もので目をそらされ、つつこむことを許されなかった謎を科学をもとに推理する本。それが『空想科学読本』である。

例を挙げれば、『宇宙戦艦ヤマト』の艦内で、人が普通に歩いたりものが落ちたりする。宇宙を航行しているはずなのに、船底方向に重力が働いているのだ。これはヤマトを回転させ、遠心力で船底に重力がかかっているようにするという手法を用いているなら可能であると考えられるそうだ。

他にも、古いものから新しいものまで、アニメ、ドラマ、映画などの謎も載っている。みなさんが知っているものは、必ずひとつはあるはずだ。私はアニメや映画が好きだが、行き過ぎた表現や行動が実現できるのか気になるときがある。みなさんもテレビを見ていて、気になることがあればぜひ読んでみてほしい。



『ゴールデンスランパー』 ~着せられた罪は首相暗殺~

私は、この本を読んで改めて伊坂幸太郎氏の才能を尊敬した。まず、帯に書かれた「首相暗殺の濡れ衣」「巨大な陰謀」の言葉が目をつけた。首相暗殺というあり得ない設定。さらにそれが濡れ衣だという。この本は間違いなくおもしろい、そう思った私はすぐにこの本を手にとった。

この本の主人公、青柳雅春は平凡な宅配ドライバーだ。その主人公がいきなり首相暗殺の罪を着せられてしまう。彼が警察から逃げていく様子には大きなドキドキ感がある。しかしこの作品の最大の魅力はやはり、陰謀の黒幕は誰なのか、どうやって陰謀の裏をかくかという点だと思う。主人公はどうなってしまうのか、その結果はぜひ本を読んで知って欲しい。

また、事件の二十年後の話があえて序盤に書かれている。事件の結果を先に知ってしまうことで、事件はどうなったのか、と興味をそそられた。こういう技法を見事に活用しているところが、伊坂幸太郎のすごいところだと思う。ぜひとも読んで欲しい傑作だ。



『恐竜』 ~THE KYORYU LOVE ストーリーは突然に~

私がこの本を選んだ理由は、私は小さい頃から恐竜が好きで、よく映画でも見たりするからです。

この恐竜の本は、昔どんな恐竜がいて、どんなことをして、どう絶滅していったのかがわかりました。例えばティラノサウルス__恐竜一の暴君__は、違う恐竜を食べ、生き長らえていたそうです。私は、今この地球上に恐竜たちがいたと考えるとゾッとします。

一番の印象に残った場面は、ブラキオサウルスという生物が、卵や子どもを守る時にものすごく凶暴になるところです。おとなしい生物がいきなりキレだすのはまるで雷が落ちたようです。しかし、我が子どもを守る姿を思い浮かべるとすごくかっこいい。

この恐竜の絵を見ているだけでも小さい頃と同じように感動する。しかし、最近思うことは、本当にいたのかという疑問だが、自分なりにはいてほしいという気持ちとすごい生物だったという恐竜であってほしいと思っています。



『謎解きはディナーのあとで』～「お嬢様はアホでいらっっしゃいますか?」～

「おはよう、お嬢さん。」私の上司や同僚は、私を茶化してこう呼ぶ。確かに私は殺人現場に咲く一輪の黒い薔薇、女性刑事。でも気安く「お嬢さん」なんて呼ばれるべき人間じゃないの。だって私は金融、エレクトロニクス、医薬品、ミステリ出版などで世界にその名を轟かせる“宝生グループ”の総帥、宝生清太郎のひとり娘。そう、「お嬢さん」なんかじゃなくて本物の「お嬢様」なんだから。

外ではキリッとした女性刑事、家では生粋のお嬢様。彼女は殺人現場を(ちょっと世間とはズレた感覚で)冷静に観察し、家でディナーをとりながら執事兼運転手の影山に事件のあらましを話す。すると影山はたちどころに事件を解決。「本当はプロ野球選手かプロの探偵になりたかったのでございます。」と言う彼はいったい何者なのか。なぜこんなにいと簡単に事件の真相にたどりつけるのか。コミカルな掛け合いと本格推理が楽しい一冊。読みながら、北川景子と桜井翔で脳内再生してみては?



図書館開館日程表<12月>



変更あり

日	月	火	水	木	金	土
<u>2011/11/27</u> 閉館	<u>28</u> 9:45 ~ 17:00	<u>29</u> 9:45 ~ 17:00	<u>30</u> 9:45 ~ 17:00	<u>12/1</u> 10:30 ~ 17:00	<u>2</u> 9:45 ~ 17:00	<u>3</u> 9:45 ~ 17:00
<u>4</u> 閉館	<u>5</u> 閉館	<u>6</u> 9:45 ~ 17:00	<u>7</u> 閉館	<u>8</u> 10:30 ~ 17:00	<u>9</u> 9:45 ~ 17:00	<u>10</u> 閉館
<u>11</u> 閉館	<u>12</u> 9:45 ~ 17:00	<u>13</u> 9:45 ~ 17:00	<u>14</u> 9:45 ~ 17:00	<u>15</u> 10:30 ~ 17:00	<u>16</u> 9:45 ~ 17:00	<u>17</u> 閉館
<u>18</u> 閉館	<u>19</u> 9:45 ~ 17:00	<u>20</u> 9:45 ~ 15:00	<u>21</u> 9:45 ~ 17:00	<u>22</u> 10:30 ~ 17:00	<u>23</u> 閉館	<u>24</u> 閉館
<u>25</u> 閉館	<u>26</u> 9:45 ~ 17:00	<u>27</u> 閉館	<u>28</u> 11:00 ~ 17:00	<u>29</u> 閉館	<u>30</u> 閉館	<u>31</u> 閉館
<u>2012/1/1</u> 閉館	<u>2</u> 閉館	<u>3</u> 閉館	<u>4</u> 9:45 ~ 17:00	<u>5</u> 10:30 ~ 17:00	<u>6</u> 8:50 ~ 15:25	<u>7</u> 閉館

【備考】 冬季休業(2011/12/26~2012/01/05)

新着図書紹介

『ドルチェ』 誉田哲也/著

人が殺されて始まる捜査より、誰かが死ぬ前の事件に係わりたい。捜査一課には戻らない。彼女は、生者のための刑事。



『ギネス世界記録 2012』

ケイ・グレンディ/著

入荷しました超人達の記録集。今年もスゴ技が載っています。

12月中は館内での閲覧のみとなります。



『謎解きはディナーのあとで 2』

東川篤哉/著

ドラマも本も話題の作品第二弾!

読みどころ満載な上に、二巻ラストにはとんでもない展開が待っている!?



『ヒア・カムズ・ザ・サン』

有川浩/著

わずか7行のあらすじから誕生した2つの小説。大切な人への想いが、時間と距離を超え、人と人を繋ぐ。



『星やどりの声』 朝井リョウ/著

亡くなった父が残した喫茶店を営み、悩みや葛藤を抱えながらも穏やかな毎日を過ごしていたのだが……。家族に訪れた奇跡の物語。



「読書週間」多読書者・発表

1位: 3S・岡部尚彦くん(45冊)

2位: 2E・工藤菜摘さん、3E・青木将偉くん(6冊)

4位: 1S・佐藤一步くん、3E・土岐希望さん(4冊)

以上の5名には後日、粗品をお贈りします!